

日本学術会議 公開シンポジウム

「薬学教育への期待：4年制薬学教育のあり方と参照基準の作成に向けて」

主催：日本学術会議薬学委員会薬学教育分科会、日本薬学会（予定）

日時：平成26年8月6日（水）午後1時～5時

場所：日本学術会議（〒106-8555 東京都港区六本木7-22-34）

開催趣旨：日本学術会議では、新薬学教育制度がスタートしたことを機に、4年制及び6年制薬学教育の体系について検討するとともに、くすりを通して医療と健康に貢献できる人材を育成するための諸方策を推進することを目的として活動してきました。この度は、「薬学」の参照基準の策定にあたり薬学教育のあり方について広く意見交換を行い、4年制薬学教育が現在直面している諸問題についても検討することを目的として、「薬学教育への期待：4年制薬学教育のあり方と参照基準の作成に向けて」をテーマとしてシンポジウムを企画しました。専門家の皆様にご講演いただき、議論を深めることにより、次世代を担う優れた薬学研究者、医療人を育てるための学部教育を推進していくことを社会に向けて発信できることが期待されます。

参加費：無料

事前申し込みの必要はありません。先着300名までご参加いただけます。

プログラム

- 13：00～13：15 開会あいさつ
柴崎正勝（日本薬学会 会頭・微生物化学研究所 所長）
橋田 充（日本学術会議薬学委員会 委員長・京都大学大学院薬学研究科 教授）
- 13：15～13：30 イン트로ダクション
赤池昭紀（名古屋大学大学院創薬科学研究科 教授）
- 13：30～13：45 薬学教育モデル・コアカリキュラムの改訂
松木則夫（東京大学名誉教授）
- 13：45～14：15 大学教育の分野別質保証と参照基準
広田照幸（日本大学文理学部教育学科 教授）
- 14：15～14：45 薬学教育への期待（製薬企業の立場から）
高柳輝夫（ヒューマンサイエンス振興財団 理事長）
- 14：45～15：15 薬学教育への期待（薬害との関連）
花井十伍（全国薬害被害者団体連絡協議会 代表世話人）
- 15：15～15：30 休憩
- 15：30～16：00 薬学教育の現状と期待（創薬研究から）
大高 章（徳島大学薬学部・大学院薬科学教育部 教授）
- 16：00～16：30 くすりと薬学教育（PMDA並びに医薬農工融合拠点の経験を通じて）
内海英雄（九州大学先端融合医療レドックスナビ拠点 研究統括）
- 16：30～17：00 ディスカッション
モデレーター：太田 茂（広島大学大学院医歯薬総合研究科 教授）